

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名 伊万里市立 山代中学校

1 前年度 評価結果の概要
・学力向上...話し合う活動、ICTの活用を授業に取り入れ、生徒の主体的・対話的な学びにつながる授業づくりの実践に取り組むことができた。授業と家庭学習をつなげるSAの取り組みの効果が表れてきた。継続して授業改善および、家庭学習の定着と充実の推進を図る。
・心の教育...生徒指導、いじめ防止対策、特別支援教育の充実のために情報共有、共通実践を行い一定の成果を得ることができた。今後は、道徳の授業づくりおよび充実の推進を図っていく。
・健康・体づくり...生徒の意識向上及び実践力につながる効果的な手立てが必要であるため、今後は、生徒会活動等を通して取り組んでいく。
・働き方改革...定時退勤日、適正な部活動運営(休養日の設定)が定着してきた。在勤時間の縮減のためにさらなる意識改革と業務改善に継続して取り組む。
・特別支援教育の推進...研修会を通して特別支援教育の在り方について職員の理解を深めることができた。具体的な手立ての在り方や支援体制について確認し、全職員で取り組む。

2 学校教育目標 心豊かでたくましく、志をもつ生徒の育成

3 本年度の重点目標
○確かな学力
○豊かな心
○健やかな体
○生徒指導の充実
・校内研究の充実(授業改善、タブレットPCの効果的な活用) ・家庭学習の充実(SAの取り組み) ・キャリア教育
・道徳科授業の充実 ・人権・同和教育の充実 ・年間を通した取り組み(「心をはくむ集会」「命と生き方を考える週間」等)
・体験活動の充実
・生活リズムの確立 ・食育の推進 ・感染症予防対策の徹底 ・部活動の充実
・開発的生徒指導(自己肯定感や自己有用感の育成) ・いじめのない学校・学級づくり ・教育相談体制の充実
・校則の見直し ・生徒会活動の充実
○地域との連携
○家庭の教育力
○小中連携
○働き方改革
・情報発信 ・地域人材の積極的活用 ・コミュニティスクールの推進
・食生活、生活リズムの確立 ・情報モラルの推進 ・「山代っ子の約束」の徹底
・中1ギャップの解消 ・立腰教育の推進 ・授業交流会
・定時退勤日の徹底 ・効率の良い働き方の推進

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組 具体的取組 達成度(評価) 実施結果 評価 学校関係者評価
●学力の向上
◎家庭学習の習慣化を図る取り組みと啓発
●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動
●いじめの早期発見、早期対応体制の充実
◎いのちの教育の推進
●「望ましい生活習慣の形成」
●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」
●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組 具体的取組 達成度(評価) 実施結果 評価 学校関係者評価
○特別支援教育の推進

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
どの項目においても担当を中心に、全職員が共通理解をして取組んだが、成果については不十分なものがあり、保護者や地域への周知の不十分さが課題に残った。来年度は今年度の取組を継続し、発展させながら次の項目について特に重点を置いて取り組むようにする。
・心の教育...生徒理解、カウンセリングマインドについて研修を行う。生徒の自己肯定感を高める取組及び、人間関係形成力、コミュニケーション能力の育成に努める。心の在り様についての自己理解と他者理解を促進できるような実践及び道徳教育の充実を図る。
・学力向上...基礎基本の定着、ICTの活用等による情報活用能力の育成、及びグループ活動の設定等による考える力の育成やアウトプットする学習経験を通して、表現力の育成につながる授業づくりに努める。家庭との連携に努め、家庭学習の定着を図る。
・特別支援教育の推進...生徒の特性の理解に努め、職員間で情報共有を行い、実態に応じた支援を行う。保護者や関係機関との連携をとり、進路についての情報提供を密に行う。配慮を要する生徒について、専門機関との連携を図り、より良い支援のあり方を探る。